



何枚も書き直して、一番上手にできたものを投稿しています

「投稿が楽しみ」

百野 達夫

随想

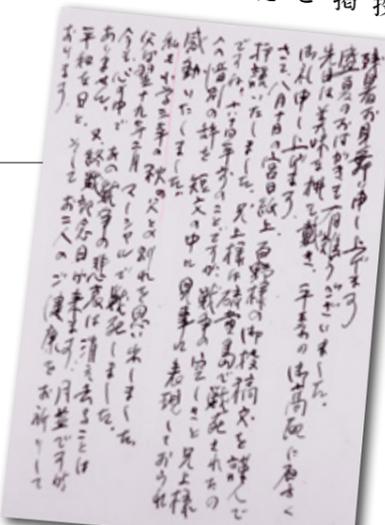
平成18年の春。木代の北西に位置する飯盛山へ、友人たちとハイキングに行った。北口登山道より登頂した。山頂には、山の神や火の神が祀られ、火災防止の石碑も建っていた。先人たちの労に感心。絶好のハイキング日和に恵まれて楽しかった。この、飯盛山の風情を『串間の魅力』と題して広報紙へ投稿した。初めての投稿でしたが掲載されて、うれしかった。当時の広報担当の係の方は、『飯盛山は市役所からもよく見え、身近な山だが、なかなか登る機会はなかった。投稿を見て飯盛山の魅力を知りたくて、或る日登頂した。よい勉強になりました。今後も楽しいお便りをお待ちしています』と丁寧な投稿後記をくださった。また、読者から『飯盛山を読んだよ』と電話などもらった。今までにない喜びを味わった。平成18年より広報くしま読者のページ「くしまにあ」や宮崎日日新聞などに投稿しているが、時々掲載してくださった。タイトルは色々あったが、戦争体験があったので『悲哀よぎった兵

士との別れ』を投稿したところ、掲載されました。これをご覧になった読者から、一通の手紙をもらいました。その手紙を披露させていただきます。残暑お見舞い申し上げます。さて、8月10日の投稿文を謹んで拝読いたしました。兄様は硫黄島で玉碎されたのですね。64年前のことですが、戦争の空しさや、兄様への惜別の辞を短文の中に見事に表現しておられ、感動いたしました。私も小学3年の秋、父との別れを思い出しました。父は翌19年2月マーシャルで戦死しました。今も心の中にある戦争の悲哀は、消し去ることはありません。また終戦記念日がきます。月並みですが、平和な日とお二人のご健康をお祈りいたします。



ひゃくのたつお (87歳)
鹿児島県阿久根市出身。昭和18年に旧国鉄志布志機関区に就職。昭和26年の結婚を機に串間市へ移住。昭和57年に退職し、現在に至る。

この方も戦争体験者で、小学3年生のときお父さまが出征。南方戦線で戦死されている。一家の大黒柱を亡くされたお母さまは、子どもの養育など、筆舌で言い尽くしがたいご苦労をされたと思います。お手紙ありがとうございました。投稿でだけ防止や、人との交流も生まれます。今後も投稿を続けていきたいです。



わたくしたちは、
1. 豊かな自然を大切に、これをいかしましょう。
1. お互いを信じ、心をあわせ、平和で明るいまちをつくりましょう。
1. 健康で働くことに誇りを持ち、豊かな住みよいまちをつくりましょう。
1. だれにも親切にし老人をいたわり、こどもに夢と、しあわせをあたえましょう。
1. 教養を高め文化のまちをつくりましょう。

市民憲章

●市の木/そてつ ●市の花/かなな
●市の鳥/めじろ ●市の花木/山桜
●人口 18,803人 (前月比-26人)
男 8,702人 女 10,101人
世帯数8,218世帯 (平成27年8月1日現在)
*平成22年度国勢調査からの推計人口です。



〒888-0221 宮崎県串間市大字大納42-1
営業時間：午前9時～午後5時
休館日：毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)
TEL 0987-76-1546

秋の野外ガイドのお知らせ

都井岬ビジターセンターでは、入館いただきましたお客さまに、野外ガイド(1時間～1時間30分)を実施しています。通常の野外ガイドに加え、新しいコースが増えました。ぜひ、体験してみませんか？

- よくばりコース (従来コース)
都井岬灯台→御崎神社→小松ヶ丘
- ガッツリ御崎馬観察コース (従来コース)
小松ヶ丘周辺
- 森林浴コース (NEW)
遊歩道を散策しながら、森林浴の効果を森林セラピストが解説します。都井岬の魅力を感じて体感しよう！



※各コース、事前予約が必要です。
※服装：動きやすい服装・靴をお願いします。
※ガイド料金：
ビジターセンター入館料
一般/310円 小中学生/200円
※お一人様、1日1コースのみとなります。

おたよりお待ちしております！

●この広報紙を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、掲載内容に関する質問、串間市への思い、あなたの身近な出来事、何でも好きなことを書いてください。



↓点線に沿って切り取り、官製葉書に貼り付けてお使いください。

今月の表紙 “よかバスと一緒に”

今月号の特集は、コミュニティバス「よかバス」。よかバスの利用機会の多い千種保育所の園児たちと一緒に撮影を行いました。よかバスが園内に入ってくると園児たちは大歓声で迎え入れてくれました。表紙はさくら組とすみれ組の園児34人と運転手の山下和彦さん。普段なかなか近くで見ることのないよかバスに大喜びの園児たち。撮影後は、車内を見学し、よかバスを身近に感じていました。



編集後記

家族や知人が認知症になったら…。私は支えてあげられるだろうか。今回の取材で考えさせられた。認知症だからと何か特別なことをする訳ではなく、そっと寄り添える人になりたい。まずは認知症について知ること。そして、たくさん話をしよう(コ)

よかバスを取材。恥ずかしながら今回の取材で初めて乗車しました。車のない人にとっては数少ない移動手段の一つ。車の有無に関わらず、みんなで利用して支えることが大事だと感じました。たまにはよかバスを利用して出かけたいと思います(イ)

888-8555
串間市役所総合政策課
情報政策係 行

(No.990/2015.9)

●ご氏名
フリガナ

年齢/ 歳 性別/ 男・女

●ペンネームまたはイニシャル ※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

●ご住所